

シグマ研究委員会核データ専門部会F P核データワーキンググループ会合議事録

日 時： 平成3年11月22日（金） 13:10～17:030

場 所： 原研東海研究所研究2棟222室

出席者： 中川、杉（原研）、瑞慶賀（日立）、松延（住原工）、川合（東芝）
菊池（原研）

配布資料：前回議事録（6/28）

FPND-91-13 FP News Letter 14th issueへの原稿と送付状（川合）

FPND-91-14 Draft Programme of NEANDC Specialists' Meeting on
Fission Product Nuclear Data（菊池）

FPND-91-15 30 keV マックスウェルスペクトル平均値の比較（中川）

FPND-91-16 NEANDC Evaluation Task Force のsubgrouo 10設立の書簡
(川合)

FPND-91-17 Pd-105, Pd-106断面積の評価値とANLポテンシャルによる計
算値との比較図（中川）

FPND-91-18 WRENDA(1991)リクエストリスト（松延）

議 事

1. 前回(6/28)議事録の確認

議事録の確認をした。

2. 一般報告

前回報告があったDresdenのDietzeからのJENDL-3の群定数に対する要求への対応について、松延委員から報告を受けた。一応、70群の群定数なら送れる旨の手紙を送ったが、その後返事がないとのことである。

I N D C 発行のF Pニュースレター第14版に投稿した旨、川合委員から報告があつた（配付資料FPND-91-13）。

WRENDA(1991)に対し F P関係のリクエストリスト（配付資料FPND-91-18）を作成した旨、松延委員から報告があつた。

3. NEANDC 専門家会議準備状況の説明

配布資料FPND-91-13に基づいて、来年5月25~27日に原研で開催されるFP核データに関するNEANDCの専門家会議の準備状況が核データセンター室長の菊池氏から報告があった。プログラムは、NEANDCで承認されたが、発表予定者の参加の可否について問い合わせているが、一部難しい人があり、代役を捜す必要もある。

4. 報告書の作成

全体の評価に関する学会欧文誌への投稿論文は、査読結果が戻ってきたこと、また、JAERIレポートとしては、コメントファイルと併せて出す予定であり、その準備を行っている。更に、共鳴グループでの作業状況が川合委員からあった。

データ集については、断面積のグラフは全てできあがっているが、1群化定数の作成が遅れている旨、中川委員から報告があった。1群化のための原子炉などの中性子スペクトルは、全て揃った由。

4. NEANDC Evaluation Task Force のsubgroup 10

配布資料FPND-91-16に基づいてFPの非弾性散乱断面積の評価グループ(Subgroup 10)の設立とスコープの説明が川合委員からあった。欧米の参加者はあまり多くなく、日本が相当リードしなければならず、ワーキンググループで支援していくことが承認された。そして、今後の作業計画が討議され、以下のように決まった。

作業の優先度：priority 1---Zr, Mo, Pd, Nd

priority 2---その他 (Ru, Cd, Ba, Ce, Sm)

作業担当： 作図、作表・・・中川、川合、佐々木、杉

OMPの検討・・・千葉、中島、佐々木

積分テスト・・・渡部、瑞慶覧、松延

プロット作業：全断面積と非弾性散乱断面積について、JENDL-3, ENDF/B-VI, JEFF-2の重ね合わせプロットを早急に行い、関係者に送付する。

上記のpriority 1の核種の非弾性散乱断面積のプロットのため、EXFORデータの調査を至急行う。

7. その他

次回会合： 共鳴バラメータグループ

12月20日（金）9:10- 17:30

原研東海研究所

議題：積分テストの結果の検討

非弾性散乱断面積の検討

その他

(宿題) EXFORデータの調査 Pd(千葉) Mo(佐々木) Nd(杉)

評価値のプロット (中川)

OMPの調査 (千葉)

以上